

授業科目

社会調査

担当教員名 鈴木 未来	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎			○

授業の概要

社会福祉士国家試験の専門科目である「社会調査の基礎」の出題基準に含まれる中項目に沿って解答に必要とされる知識を養うとともに、解答のための応用力を過去に出題された問題を用いて身につける。

授業の目的

社会調査の意義と方法を理解する
調査設計の手法や分析方法および調査結果の活用法を修得する

学習目標

1. 資格試験の試験問題の解答の方法を調べる
2. 社会調査の意義と歴史について説明する
3. 社会調査の調査設計と分析が実施できる
4. 社会調査の倫理について討議できる
5. 社会調査の実施にあたってのITの活用方法について列挙する

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	社会福祉と社会調査1（社会調査とは何か、社会福祉士の役割と社会調査）	講義	鈴木 未来
2	社会福祉と社会調査2（社会福祉と社会調査）	講義	鈴木 未来
3	社会調査の概要1（社会調査の意義と目的、社会調査の対象と方法）	講義	鈴木 未来
4	社会調査の概要2（社会調査を取り巻く状況、統計法の概要）	講義	鈴木 未来
5	社会調査の概要3（統計法の概要）	講義	鈴木 未来
6	量的調査の方法1（量的調査の特徴と種類）	講義	鈴木 未来
7	量的調査の方法2（調査票（質問紙）の作成方法と留意点、調査票の配布と回収）	講義	鈴木 未来
8	量的調査の方法3（量的調査におけるデータ解析）	講義	鈴木 未来
9	質的調査の方法1（質的調査の特徴と種類、調査設計）	講義	鈴木 未来
10	質的調査の方法2（対象者の選定と調査手続、調査手法）	講義	鈴木 未来
11	質的調査の方法3（質的調査における調査の実施）	講義	鈴木 未来
12	質的調査の方法4（質的調査におけるデータの分析、質的調査における発表・報告）	講義	鈴木 未来
13	社会調査における倫理と個人情報	講義	鈴木 未来
14	社会調査の実施にあたってのITの活用方法	講義	鈴木 未来
15	まとめ	講義	鈴木 未来

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	新・社会福祉士養成講座5 社会調査の基礎 第3版	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	2013年	2,310円	
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験と授業への参加度

履修上の留意点

出席確認は受講生が、学生証を教室設置のカードリーダーにかざすことによって行う

オフィスアワー・連絡先

第1回の講義時に確認のこと。mik-suzu@nuhw.ac.jp